

第28章 社会学ベースの制度理論

自分の常識は
知らぬ間に作られる。

従う？使う？破壊する？
自分で選択する目を身につけよう！

3つのポイント

1. 人は合理性ではなく、正当性で意志決定するもの
2. 環境（場所、組織、国など）によって、正当性・習慣は異なる
3. 知らぬ間に作り上げられた「正当性」を変えるには、制度から攻める。

「人は合理的な意思決定をする」

経済学

＜経済学ベース制度理論＞

ゲーム理論を基盤・・一人一人がお互いの意思を読み合いながら合理的に意思決定する

→組織制度、社会制度、ビジネス習慣

「人は合理的な行動を取らない」

心理学

＜社会学ベースの制度理論＞

「必ずしも合理的な意思決定をしない」

→心理的な親しさ、認知的な近さが生まれ、ヒューリスティックに意志決定する

社会学

第28章 社会学ベースの制度理論

【合理性より正当性により行動する】

合理的意志決定ではなく、他社や政府が進めている
という正当性で行動する

例えば・・

ダイバーシティ経営をしたい理由
女性活躍を促進したい理由

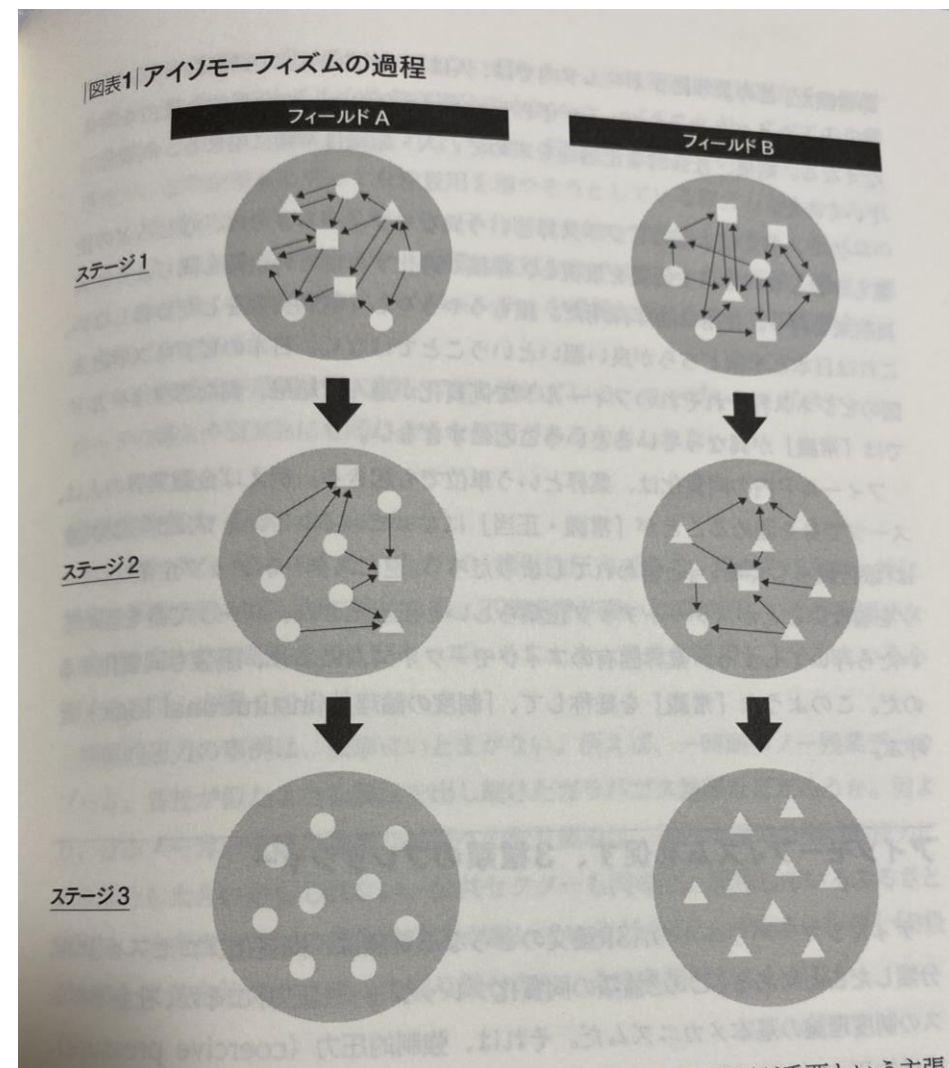
政府が決めたから
他社が必要だと言っ
ているから



第28章 社会学ベースの制度理論

- 人、組織、企業は同質化する
(社会的な正当性になる) までに順番がある。

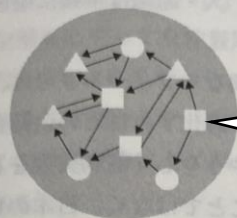
たとえば・・・



図表1| アイソモρφイズムの過程

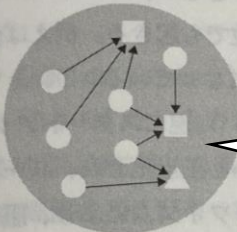
フィールド A

ステージ1



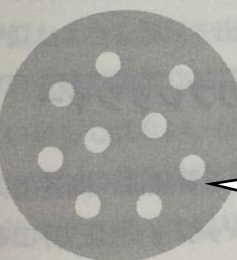
姓は、武士だけ名乗っていいよ。結婚しても別姓ね。
北条政子さん・・・源政子さんではない。
姓のない人もたくさんいますよ。

ステージ2



みんな姓を名乗ってもいいよ。
結婚しても姓は別でいいですよ

ステージ3



法律を作りました。家是一緒だから
夫婦是一緒の姓を名乗りましょう。

先進国では日本だけ夫婦同姓が法律で定められている。

第28章 社会学ベースの制度理論

- フィールド内では、特定の行為を「常識」と捉え、なぜかという合理的な理由を考えなくなる！



第28章 社会学ベースの制度理論

• 同質化のプロセスを3つに分類

1) **強制的圧力**

→ 政策、法制度



2) **模倣的圧力**

→ ブーム



3) **規範的圧力**

→ 特定の職業などの「あるべき論」



第28章 社会学ベースの制度理論

- 無意識に同質化した組織間の溝は問題・・・

例) 国と国の問題

ビジネスの常識、慣習の違い

賄賂の常識・非常識により、海外進出のスピードが異なる

制度のすきま
と
制度の重複



第28章 社会学ベースの制度理論

解決策は？！

第28章 社会学ベースの制度理論

図表4 | インスティテューショナル・アントレプレナーの要件

1 | 変化に向けたビジョンを掲げる | creating a vision for divergent change

既存の常識に異を唱え、変革を促すため、明確なビジョンを掲げる必要がある。ビジョンでは、以下の3つのフレーミングを強調することが必要となる。

① 診断的フレーミング | diagnostic framing

既存の「常識」が現実と照らし合わせて不都合になっていること。

② 予知的フレーミング | prognostic framing

新しく提示する「常識」が既存のものより優れていて、既存プレーヤーにも害が少なく、望ましい状況になること。

③ 動機づけフレーミング | motivational framing

新しい常識を支援することが、フィールド上の人々にとって重要なこと。

2 | 支援者を巻き込み、動かす | mobilizing allies

常識の変革は単独では難しいため、周囲に支援者をつくり、仲間を増やして巻き込むことが重要になる。以下の2つの手法が重要となる。

① 講演・講話の活用 | use of discourse

講演・メディアなどを使って、1のビジョンを広く訴えかける。

② 人的資源を動かす | resources mobilization

周囲の仲間・支援者を巻き込む。そのためには、周囲のソーシャルキャピタルを活用することが重要になる。また、発信者の社会的ステータスが啓蒙に当たっては重要なため、自分を支援してくれる社会的ステータスの高い人々に啓蒙の助力を得ることも必要となる。

世界を変える！



第28章 社会学ベースの制度理論

• 同質化のプロセスを3つに分類

1) **強制的圧力**

→ 政策、法制度



2) **模倣的圧力**

→ ブーム



3) **規範的圧力**

→ 特定の職業などの「あるべき論」



第28章 社会学ベースの制度理論

- 同質化のプロセスを3つに分類

1) 強制的圧力への抵抗

→ 政府部門へのアプローチ

〇〇審議会 座長！

3) 模倣的圧力への抵抗

→ 仲間支援者の巻き込み

* Social capital/sense making

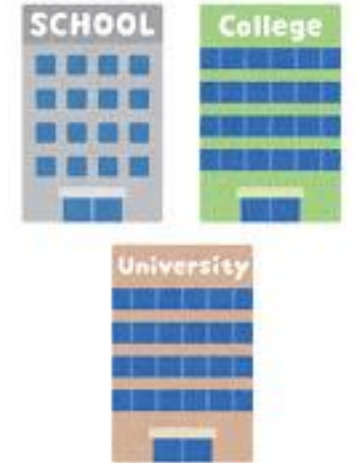
2) 規範的圧力への抵抗

→ 特定の職業などの「あるべき論」
を覆す！（メディア・講演活動）

星野さん提唱「マイクロツーリズム」

第28章 社会学ベースの制度理論

我々の常識は、
特定の、場所、業界、国などのフィールド内
でしか
通用しない常識なのだ。



- ・ 常識に**従う**か
- ・ 常識を**うまく活用**するか
- ・ 常識を破壊し、**塗り替える**か

<論点>

- 身の回りの制度理論、ありますか？
気づかぬうちに。。
- グローバル展開以外に、この「制度のすきま」
のような事象は何かありますか？
* ビジネスではなくても・・・